

コンクリート打込（ 計画 ・ 結果 ）表

上段(計画) 下段(結果)	計画調査 番号	打込箇所 (部位別)	打込 時期	コンクリート の種類	セメントの 種類(記号)	設計基準 強度(N/mm ²)	呼び強度	混和材料 (商品名)	スランブ(cm)		単位水量 (kg/m ³)	打込容積 (m ³)	試験 回数(回)	空気量(%)		温 度(℃)		塩化物量 測定結果 (kg/m ³)	使用 塩化物量 測定器	圧縮強度(N/mm ²)		養生方法 (A ・ B ・ D)	
									最大	最小				最大	最小	7日	28日						
計画	NO.																						
結果	NO.																						(□A ・ □B ・ □D)
計画	NO.																						
結果	NO.																						(□A ・ □B ・ □D)
計画	NO.																						
結果	NO.																						(□A ・ □B ・ □D)
計画	NO.																						
結果	NO.																						(□A ・ □B ・ □D)
計画	NO.																						
結果	NO.																						(□A ・ □B ・ □D)
計画	NO.																						
結果	NO.																						(□A ・ □B ・ □D)
計画	NO.																						
結果	NO.																						(□A ・ □B ・ □D)
計画	NO.																						
結果	NO.																						(□A ・ □B ・ □D)
計画	NO.																						
結果	NO.																						(□A ・ □B ・ □D)
計画	NO.																						
結果	NO.																						(□A ・ □B ・ □D)
コンクリート容積計		普通(m ³) ・ 軽量(0 m ³)						合計 (m ³)															

【コンクリート製造会社・工場名】

※【 コンクリートの劣化対策 】

※【 考 察 】

計画調査 NO.	○塩化物量の予測 ()0.30kg/m ³ 以下、()0.30kg/m ³ を超え0.60kg/m ³ 以下、()0.60kg/m ³ を超える	○圧縮強度試験結果について	○塩化物量測定結果について
計画調査 NO.	○塩害の要因(□ 有 ・ □ 無) ()海砂、()混和剤、()練り混ぜ水、()その他()		
計画調査 NO.	○塩害対策 (□ 有 ・ □ 無) ()調合(w/c %、スランブ cm)、()防せい剤() ()床下端の鉄筋かぶり厚さ(cm)、()その他()	○アルカリ骨材反応対策について	○その他(骨材の品質、不具合の処置等)
計画調査 NO.	○アルカリ骨材反応対策 (□ 有 ・ □ 無) ()無害骨材の使用、()低アルカリ形セメントの使用() ()アルカリ総量(kg/m ³ 以下)、()混合セメントの使用		

- 1) コンクリート工事施工計画報告書はコンクリート工事着手前までに、コンクリート工事施工結果報告書は中間検査申請時又は、完了検査申請時に必ず提出すること。
- 2) 記載内容に変更が生じた場合は、コンクリート工事施工結果報告書により報告すること。
- 3) コンクリート工事施工計画報告書の提出時に、計画調査番号を明記したコンクリート配合報告書を提示すること。
- 4) 工事開始前並びに工事期間中（1回/月）、「登録試験所」で行った骨材試験報告書（絶対密度及び吸水率の測定、粒度の測定）を各提出時に提示すること。
- 5) 工事期間中に行った塩化物量測定は、(財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けた塩化物測定器具により測定し、この欄には最大値を記入すること。
- 6) 工事期間中に「登録試験所」で行った圧縮強度試験（S56 建告第1102号）の試験報告書の原本を各検査時に提示し、この欄には最小値を記入すること。

- 7) 各種試験は「登録試験所」で実施すること。
- 8) コンクリート工事施工計画報告時は計画欄（上段）に、コンクリート工事施工結果報告時は結果欄（下段）に記入すること。
- 9) コンクリートの劣化対策はコンクリート工事施工計画報告時に、考察はコンクリート工事施工結果報告時にそれぞれ記入すること。
- 10) 計画欄、結果欄 内は、未記入とする。

- 11) 養生方法A：標準養生
養生方法B：現場封かん養生
養生方法D：現場水中養生